

# 令和4年度地域活性化活動助成事業活動概要

長門市立深川小学校

## 1 活動名 ドリーム農園から「ふるさと長門」を考える

## 2 活動概要

### (1) はじめに

「ドリーム農園から『ふるさと長門』を考える」という活動を通して、子どもたちに農業体験をさせながら、地域の方々と共に「ふるさと長門」を考える活動を仕組んでいくことをねらいとしている。今年度も昨年度と同様に、2年生の生活科「ぐんぐんそだて、わたしの野さい」、6年生の総合的な学習の時間「ふるさとのためにぼくたちわたしたちができること」の学習の一環として取組を進めた。異学年が合同で行うことにより、異学年交流学习も視野に入れて行った。

### (2) 活動の実際

#### ① 畑づくり

毎年、地域のお寺から土地を借り「ドリーム農園」と名付けて農作物の栽培活動を行っている。はじめの頃は、荒地状態であったが、地域の方々の協力によりサツマイモの収穫ができるようになった。今年も、活動を計画していた6月のはじめには地域の方が畑を耕したり、畝を作ったりしてくださった。水はけのよくない土地なので、少しぬかるんだ状態での畑づくりとなったが、地域の方やPTA会長に助けていただいたおかげで、サツマイモを植える準備ができた。



#### ② 植え付け・栽培・収穫

児童が植え付けを行う前に、マルチを設置し、雑草対策を行った。JA山口よりサツマイモの苗を提供していただき、6月24日（金）に2年生と6年生で植え付けを行った。長さ約20mの畝に一人ひとりが大切に苗を植えた。畑がぬかるんでいたため、大変な作業となったが、6年生が2年生に声を掛け、助けながら活動することができた。わずかながら、農作物を育てる大変さを感じるよい機会となった。



夏休みの親子奉仕作業の際、6年生がドリーム農園の草取りを行った。天候に恵まれていたおかげやマルチを張っていたため、サツマイモは順調



に育っていた。収穫のときを楽しみにしながら一生懸命に草取りをする子どもたちの姿が印

象に残った。

11月4日（金）、植え付けと同じように2年生と6年生とで収穫を行った。今年は例年に比べてたくさんのサツマイモを収穫することができ、子どもたちは掘るたびに土の中から出てくるサツマイモに歓喜の声をあげながら収穫を楽しんだ。当日はJA山口の方も収穫の様子を見に来てくださった。



### ③ 収穫後

たくさんのサツマイモを収穫できたため、普段お世話になっている地域の「深川子ども安全見守りたい」の皆さんに少しずつ配ることにした。子どもたちが近所の見守りたいの方にそれぞれ持ち帰り、感謝のお手紙とともに手渡した。36名の方に手渡すことができた。サツマイモとお手紙を届けに行くと、笑顔で迎えてくださったり、一筆箋にお礼の手紙を書いて渡してくださったりして、地域の方との温かな交流の様子が見られた。その他、畑の世話をしてくださった地域の方やPTA会長にもサツマイモを届けた。残りのサツマイモを2年生と6年生の子どもたちが家庭に持ち帰った。自分たちが育てたサツマイモを家庭でも喜んでもらったことで、子どもたちもとても嬉しそうだった。「お味噌汁に入れて食べました!」「スイートポテトをたくさん作りました!」など、調理したことを知らせてくれた子どももいた。



### (3) 成果と課題

農業体験を通して、作物を栽培し収穫し活用するまでの過程を考えたことは、子どもたちにとって貴重な体験となった。特に6年生は、畑づくりの大切さや草取りなどの大変さなどを実感できたようであった。また、畑を作るために協力していただいた方の存在に感謝するよい機会となった。2年生は、サツマイモの収穫を通して、作物を育てることの楽しさや感謝の気持ちをもつことにつながった。

### (4) おわりに

本教育活動は8年目を迎えた。子どもたちが地域の方と積極的に触れ合い、日頃の感謝を表すよい機会となっており、有意義な活動となっている。子どもたちが将来「ふるさと長門」を愛し、地域の活性化につなげることができるよう、今後も様々な活動を通して「ふるさと長門」で活躍する子どもの育成に努めたい。また、このような活動を進めていくため地域活性化活動助成事業を活用させていただいたことに深く感謝したい。